

テオリアサイエンス株式会社 臨床研究
「がん微小環境における細胞外小胞（EV）の普遍性の証明と EV を測定することによる
プレシジョンメディシンの開発」へご参加いただいた皆様

テオリアサイエンス株式会社
2024 年〇〇月〇〇日

弊社臨床研究、「がん微小環境における細胞外小胞（EV）の普遍性の証明と EV を測定することによるプレシジョンメディシンの開発」へご参加いただきありがとうございました。

上記研究の説明文書 13 項（「研究に用いられた試料や情報の二次利用について」）でご同意いただきました、残余血清・情報の二次利用につきまして、利用目的等が決まりましたので以下にお伝えいたします。もし、ご不明な点や質問事項がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

--- 記 ---

- 試料・情報の利用目的及び利用方法：
東京医科歯科大学との共同研究である「大腸がん患者血液由来エクソソームのバイオマーカーの研究」（承認番号：M2023-214）（研究実施許可日～2029 年 8 月 31 日）で、対照群として皆さんの検体と情報を使用します。
この研究の目的は、東京医科歯科大学大腸・肛門外科で手術をうける大腸がん患者さんの血液中のエクソソーム並びに他の生物学的指標も分析し、血液検査だけでがん組織の状態を判断できるか検討を行います。
- 利用し、又は提供する試料・情報の項目：血清、年齢、性別、既往歴、現病歴、服薬薬剤名、検査結果
- 利用又は提供を開始する予定日：2024 年 9 月 1 日予定
- 利用する者の範囲：
研究代表者：東京医科歯科大学消化管外科学分野 教授 絹笠祐介
研究責任者：テオリアサイエンス株式会社 Chief Medical Officer 村上善基
<測定委託先>
株式会社 LSI メディエンス
東京大学医科学研究所臨床フローサイトメトリー・ラボ
株式会社テクノプロ テクノプロ・R&D
- 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：
東京医科歯科大学消化管外科学分野 教授 絹笠祐介

- 利益相反について

本研究は、東京医科歯科大学とテオリアサイエンス株式会社と共同研究として行っています。本研究の実施にあたっては、東京医科歯科大学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。また、共同研究契約によりテオリアサイエンス株式会社に特段有利になることがないように運用されておりますし、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図って参ります。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

- 問い合わせ先/苦情窓口

研究に係るご相談・問い合わせ等の連絡先：

研究者連絡先：東京医科歯科大学病院 消化管外科学分野 絹笠

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

03-5803-5254（ダイヤルイン）（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京医科歯科大学統合研究機構事務部研究推進課生命倫理係

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

以上